

11. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連 (沖縄)	良くなる	ゴルフ場（経営者）	・売上は10%近く伸びている。予約の状況を見ていても今後も同程度の売上が見込まれる。
	やや良くなる	コンビニ（経営者）	・店舗の様態替えて、デザート関連の商品が目立つようになった。今後の売上が期待できる。
		衣料品専門店（経営者）	・やや良くなると思いたい。当たり前ながら、各店が客のためのサービスと個性的な商品構成、元気を発揮できれば客は商店街にも足を運んでくれると思う。
		観光型ホテル（マーケティング担当）	・現段階の予約状況から推測できる今後2～3か月後の稼働率は、今月の落ち込みよりは良くなる見込みである。また旧正月期間もあり、予約状況は外国客も含め好調である。
		住宅販売会社（営業担当）	・前月同様、住宅ローン金利はかつてない低水準であり、今後更なる建築資材価格の高騰や職人不足が予測されるため、早めの建築計画が考えられる。
	変わらない	一般小売店〔菓子〕	・国内観光客が伸びず、海外観光客が増えたとしても特に販売量に影響はないと考えられる。
		スーパー（販売企画担当）	・まだ単価のアップは続き、景気も変わらないと考えられる。
		コンビニ（エリア担当）	・ブランド変更等で商圈や店舗数の変化はあるが、客単価は安定しており、今後もこの傾向は続く。
		衣料品専門店（経営者）	・業界全体を見渡すと、先行きに対しては不安だけのような印象を受ける。特に今年は暖冬のため、季節商材が売れずに苦戦している。これからセールでさばけるか心配であり、景気に対してはまだ様子見のような印象である。
		その他専門店〔書籍〕（店長）	・特に変化する要因が見当たらない。
		旅行代理店（マネージャー）	・大幅に改善される材料はないが、下向きではないと感じる。
		通信会社（サービス担当）	・格安スマホや、政府からの携帯料金の見直し要請などがあり、業界として厳しくなりそうである。
		住宅販売会社（代表取締役）	・一定の建築相談件数はあるものの土地価格や建築資材、人件費の高止まりもあり、当面一進一退の状況が続くのではないかとと思われる。
	やや悪くなる	百貨店（営業部）	・暖冬の影響が続き、衣料品を中心に伸び悩むと見ている。インバウンド売上は継続して伸びると思われるが、伸び幅が落ち着くと見ている。
通信会社（店長）		・総務省指導による携帯電話の料金についての動きが年明けにも予想されるので、端末単価が上がり販売は厳しくなると予想している。	
悪くなる		商店街（代表者）	・日本全国としては良い雰囲気があるが、それは恐らく一部であり、末端の中小零細企業は大変苦戦している。値段では大型店に太刀打ちせず、商店街に来客はあっても、なかなか買うまでには至らないという話をよく耳にしている。
		その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	・マイナンバー制度がスタートして、ダブルワークのやりにくさ等で、採用や、消費にも影響が感じられる。
企業動向 関連 (沖縄)	良くなる	-	-
	やや良くなる	建設業（経営者）	・資金的に比較的ゆとりのある客の引き合い件数が増えている。
		輸送業（代表者）	・与那国は陸上自衛隊工事や台風災害復旧工事で忙しいが、反面他の先島地区は低調な状態であった。ただし、石垣島などで公共、民間工事共に上向きの傾向が伺える。
		輸送業（営業）	・県内へ新規参入する企業からの物量業新規受託の予定や、既存荷主の拡大案件等明るい兆しがみられる。また、観光客数更新による流通量増も引き続き見込まれる。ただし、人員不足、インフラ不足は懸念事項として残る。
	変わらない	食料品製造業（総務）	・全体ではやや良くなる感じがするが、当業界は、円安推移による輸入商品、原材料価格への影響や他社との競争等厳しい環境下にある。
		窯業・土石製品製造業（経営者）	・横ばいと予測するが、年度末に向け期待したい。
		広告代理店（営業担当）	・取引のある県内企業が抱えている景気の先行きに対する見通しは、決してマイナス評価ではないが、販促投資に大きなプラス効果をもたらすまでの勢いはない。従って、受注量が大幅に拡大するとは言い難い。
	やや悪くなる	-	-
悪くなる	-	-	
雇用 関連	良くなる	求人情報誌製作会社（編集室）	・年末に求人を探していた企業から、正月明けより多くの求人広告の出稿がなされると予想される。このような積極的な動きは数か月続くと思われる。

(沖縄)	やや良くなる	求人情報誌製作会社 (営業担当)	・例年どおりこれからの季節は求人数が増加する。
	変わらない	人材派遣会社(経営者)	・依頼数は増えているものの、依然として人材不足に悩まされ、ビジネスチャンスを活かせない状況もある。今後の人材の確保も相変わらず大きな課題で、数字への反映が厳しいところがある。
		学校[大学](就職担当)	・求人企業数は現時点でも増えており、確かに景気を反映しているものと思われるが、年明け以降、ますます景気の上昇が実感できるとまでは、まだ思えない。
	やや悪くなる	人材派遣会社(総務担当)	・増えていく求人に対して、登録者をどう増やしていけるかが課題である。
		学校[専門学校](就職担当)	・企業側は、早くも次年度の採用活動に向けて始動しているが、次年度の採用人数は減らしているような気配がうかがえる。
悪くなる	-	-	